

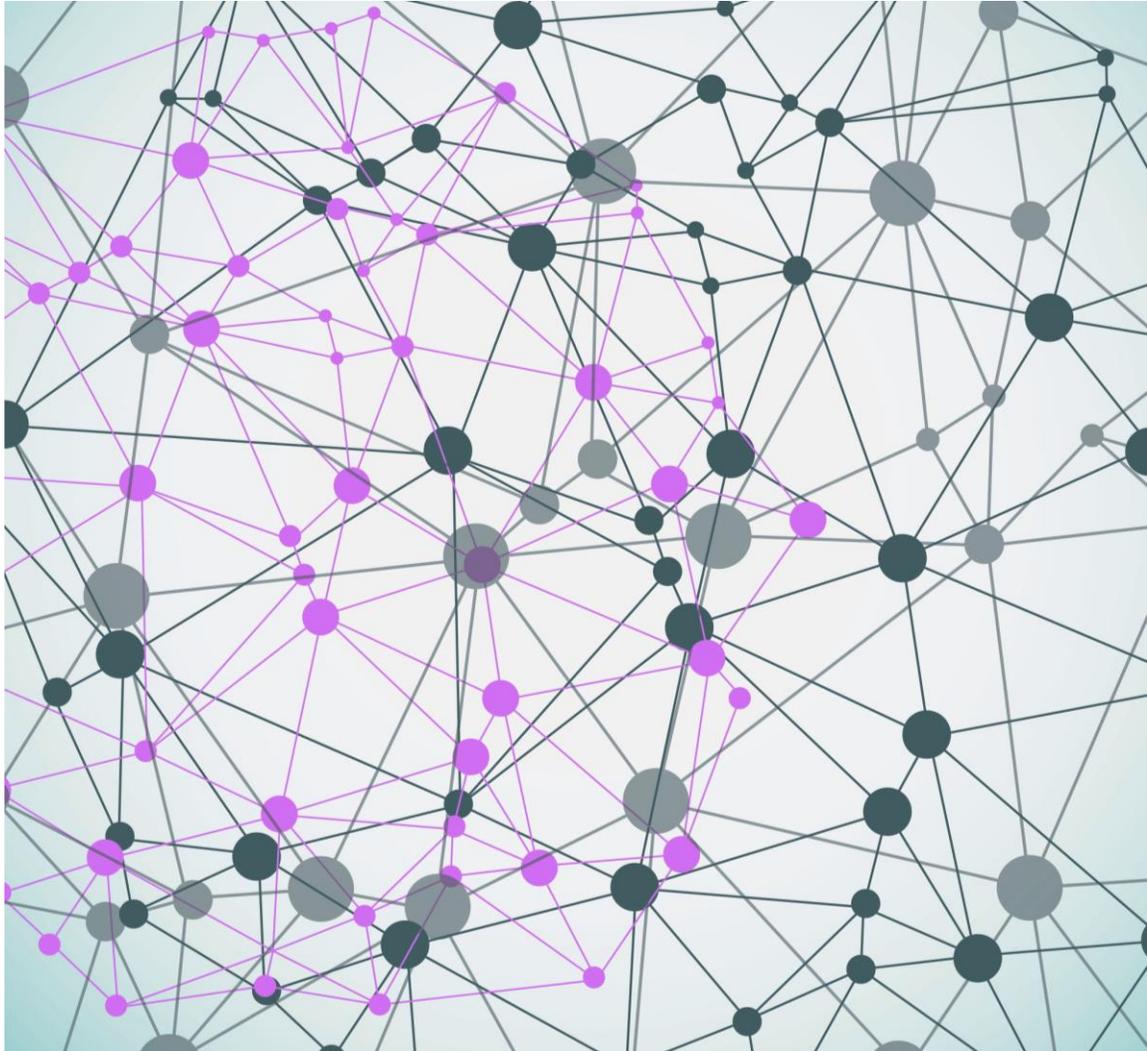
LoFR Open lecture; No.7

電子リソースの活用と リモートサービス : 図書館の課題

Utilization of E-resource and
Remote Services : Library
Challenges

未来の図書館研究所

永田治樹



図書館では、
紙・印刷媒体



電子リソース

E-resources

電子リソースとは

電子図書、電子雑誌・新聞、データベースなど、基本的にインターネット上で利用できる情報資源（資料、文字資料以外のものを含む）

DRMリソースもあればオープンアクセスのリソースもある

★ 図書館は出版物をモノの粒度で、利用者に提供してきた。しかし今やモノではなく「知識・情報の粒度」で求められている

図書館を通じて知識・情報が獲得できるか

Can knowledge and information be acquired through the library?

紙の資料の時代：機関スケールで、その逸脱は総合目録と相互協力でののぐ

電子リソースの時代：ウェブスケールで対応（図書館＋ベンダー）

知識・情報の発見→入手

Process from discovery to acquisition of information

アクセス・ツール(検索及びディスカバリ)

1. 図書館によるもの: OPAC、電子ジャーナルやデータベースA-Zリスト、電子図書のリスト、利用説明
2. ベンダーによるもの: ディスカバリインデックス(抄録や全文を含むメタデータ)

知識管理システムとリンク・システム

1. 図書館によるもの: 統合図書館システム(ILP) + 電子リソース管理システム(ERMS)
2. ベンダーによるもの: ナレッジベース、直接リンク + リンクリゾルバ

図書館に用意すべきシステム構成要素：発見から入手まで

Required Components for Libraries: From Discovery to Acquisition

1. アクセスツール（検索及びディスカバリ） Search and discovery

OPAC（補完的なもの）、データベースや雑誌のA-Zリスト等、ウェブスケールのディスカバリサービス等

2. 知識管理システム Knowledge management systems

ILS, ERMS、ナレッジベース、LSP

3. リンク・システム Link administration

リンクリゾルバ、LSP

4. 認証 Authentication

IPアドレス、プロキシ、VPN、SSO

Cf. Ashley Zmau and Holly Talbot, Components of E-Resource Access, *Library Technology Reports*, 58(7), 2022.10.

認証

Authentication

Why Migrate to Federated Identity Management (FIM) with SAML?

認証とは、各サービスについて許可されたユーザであるかどうかを証明するプロセス

(リモートアクセス：IPアドレス、プロキシサーバ、仮想プライベートネットワーク)

なぜ、SAMLによるフェデレーション（連携認証）に移行するのか

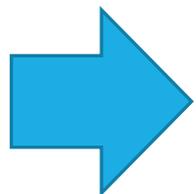
①使い勝手の良さ、②セキュリティの高さ、③安定した技術、④分析のしやすさ

◆シングル・サインオン（SSO）によるユーザビリティの高さ（シームレスな接続）はむろんのこと、情報確保のための視界（さまざまなサービスプロバイダーへの接続を容易にし、適切なコピーの提供）の改善

図書館になにが重要か

What matters for library?

- 図書館が知識・情報を自由に確保し、提供できる環境
 - 多様なプロバイダーからのサービス確保
 - さまざまなコンテンツ提供者(例: 中小規模の出版社)を包摂
- 利用者の利用性とプライバシーの確保
- 図書館の経営にとって不可欠な情報の確保



フェデレーション管理の提案や新たな動向への注目

FIM proposals and attention to new trends

JISCとの 邂逅

Encounter with JISC

1984年 JANETを展開 ⇔ カウンターパートとしてのSINET(1987年)

2019年 Eduserv(地方自治体や公共団体等のデジタル化)と合併、高等教育分野以外への展開(公共図書館が入る)

さらに国際的な広がりも(例:ガレリオなど米国の州レベルのサービス)

OpenAthens の特長

- 機関種の壁がない
- サービスプロバイダーの拡大に柔軟に対応
- 図書館経営に必要な情報がレポートとして入手できる